

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「コンビニ弁当が危険！プラスチック等含有の飼料で育った豚鶏肉使用の恐れ」
- 2) 「採血せず血中の中性脂肪測定 北大発VBのメディカルフォトリクスが小型機器」
- 3) 「婚活中の男性向け“イクメン学校”が東京で開校」

1) 「コンビニ弁当が危険！プラスチック等含有の飼料で育った豚鶏肉使用の恐れ」

セブン-イレブン・ジャパンでは、かねてから店舗で消費・賞味期限切れとなった廃棄食品を配合飼料に加工し、養豚業を中心に提供しているが、このほど同社指定の養鶏場にも回すことを明らかにした。廃棄食品からリサイクルされた配合飼料で飼育された鶏が産んだ卵は、チルド弁当の材料にするという。

資源の有効利用から、廃棄食品のリサイクルは不可欠なことではあるが、コンビニ食品の配合飼料への再利用は、安全面で大きな不安がある。まず飼料に発泡スチロール、プラスチックの成分が含まれることだ。

コンビニおにぎりの包装をひとつずつ分別することは、量が多すぎて不可能なのだ。そのため、コンビニ弁当、おにぎり、サンドイッチ、カップ麺など、コンビニ廃棄食品の大半は、包装されたまま焼却処分される。焼却処分後、熱風でプラスチック成分などを飛ばし、配合飼料の原料にしている。しかし、完全にプラスチック、発泡スチロール成分を除去することは不可能で、リサイクルされた配合飼料にはプラスチック成分が必ず混入している。

カップ麺の発泡スチロール製容器から溶出する化学物質のスチレンもプラスチック成分で、生殖機能に悪影響を与える環境ホルモンだ。また、コンビニサンドイッチなどを包んでいるラップにはフタル酸エステルやアジピン酸エステルという可塑剤が添加されているが、これらも催奇形性（奇形を出現させる性質）がある環境ホルモンである。

コンビニ食品をリサイクルした配合飼料は、こうした環境ホルモンの混入が避けられない。それらを鶏に食べさせるというのだ。卵の安全性は、どういう飼料で鶏を飼育しているにかかっている。鶏に与えた飼料成分は鶏卵に移行する。卵の黄身をより黄色くしたいのなら、餌に黄色の着色料を入れれば、すぐに黄色が濃い黄身の鶏卵ができる。環境ホルモン入りの餌を食べさせれば、環境ホルモンは鶏卵にも移行するのである。

コンビニ廃棄食品からリサイクルされた飼料の問題点は、プラスチック成分（環境ホルモン）の含有だけではない。コンビニ食品に使われている食品添加物が、リサイクル飼料にも移行することだ。添加物の中でも特に問題なのが、コンビニの米飯類に炊飯改良剤として使われているグリシンである。

厚生労働省が実質的に監修している「食品添加物公定書解説書」に、グリシンの毒性に関する指摘が次のようにある。

「鶏（白色レグホン）に1日4グラム以上グリシンを経口投与すると、中毒症状を呈し、極度の疲憊、昏睡及び死亡が見られた。さらに、水分の排泄量は減少し、その窒素含量は4倍に増加し、プリン濃度も上昇した。腎臓は著しく萎縮している」

こんな毒性のあるグリシンを含有する餌を食べさせられる鶏は、悲劇的である。その鶏が産む卵を惣菜などに利用するというのだから、グリシンは濃縮されて人の口に入ることになる。

グリシンの毒性について「食品添加物公定書解説書」は、「モルモットに大量に与えると、右回りの円運動を行い、死に至る。ラットの飼料に10%添加すると、発育の遅れ、クレアチニン尿症状、白血球の減少が見られる」と報告している。コンビニ廃棄食品を飼料にリサイクルし、鶏に与えるのなら、少なくとも包装されているプラスチック類の完全除去と、コンビニ食品へのグリシン添加をやめるべきだ。

廃棄食糧の有効活用は良いことだと思うが、このように化学物質や添加物の問題があることはリサイクルという“良い行為”に隠れてあまり見えていないように思う。リサイクルをして健康を害しては本末転倒だ。コストや技術の問題もあるのかもしれないが、せっかくやるのであれば分別の精度を上げることができないものかと考えさせられる。

2) 「採血せず血中の中性脂肪測定 北大発VBのメディカルフォトニクスが小型機器」

メディカルフォトニクス（札幌市）は、採血せずに血液中の中性脂肪を測定できる機器を開発した。人体に無害な近赤外光を照射し、体内を透過して出てきた光を分析することで、簡単に血液情報が得られる。血中脂質の増加は脳梗塞や心筋梗塞などの発症の可能性を高める。年内にも医療関係の研究者や食品メーカーに同機器を貸し出し、収集データを解析するサービスを始める。収集したデータはパソコンやスマートフォンなどに転送できる。注射針を刺して採血する必要がなく、痛みを伴わないで検査できるため、健康管理がしやすくなり、無駄な投薬の削減につながることで期待される。

今後、日本政策金融公庫国民生活事業北海道創業支援センターと北洋銀行の協調融資を活用し、機器の大きさを半分ほどに小型化する開発などを進める。同機器で2018年に医療機器の承認取得、20年に保険収載を目指し、将来的には一般家庭への普及も図る。同社は15年2月創業の北大発ベンチャー。飯永社長は「心筋梗塞は再発率が高い。手軽な測定手段を提供することで、少しでも発症を減らしたい」と話す。

イートインスペースでの健康診断など健康に関する取り組みが増えている今、より手軽に気になる数値を測定できるようになるのは嬉しいことだ。一般人でも利用できるようになれば今までなんとなく購入していた健康食品を、より自分に合うものに絞って選べるようになるだろう。今後に期待したい。

3) 「婚活中の男性向け“イクメン学校”が東京で開校」

日本で初となる、理想の奥さんを見つけたい婚活中男性向けのイクメン教育をする「イクメン学校」が東京で開校された。学べる内容は3つ、コミュニケーション（理想の奥さんとの関わり方）、育児（これから出会う子供との関わり方）、ライフデザイン（自分の人生と向き合う）。

受講された100%の方が自分の結婚観が明確になり、女性からみて《結婚がイメージできる男性》になり婚活でも役立つ。

赤ちゃんの抱っこの仕方からオムツ替え、ミルクの飲ませ方、妊婦体験などをしっかり学んでもらい、卒業生にはイクメンの証《イクメン士認定資格証》を発行する。

さらにこの学校のポイントは、生徒は「婚活中の男性」ということ。

イクメン士資格は結婚生活でも支えてくれる男性の証となり、働く女性から見ても頼れる男性の基準になる。実際、去年の卒業生のうち3割の男性が結婚が決まった。自分の結婚観が明確になると女性が結婚をイメージできる男性になる。

未婚・晩婚・少子化が年々進んで深刻な社会問題になっている。現在、生涯未婚率（50歳の時点で一度も結婚した事がない人）は男性が5人に1人。女性は10人に1人。このままいけば、15年後（2030年）には男性が3人に1人。女性が4人に1人が一生結婚しないと予測されている。そして、離婚する夫婦が増え、現在結婚しても3組に1組が離婚している。離婚の原因は産前産後の夫婦の関わり方でのミスコミュニケーションや、産後クライシス（産後2年間の奥さんが不安定な時期）が多い。

■サービス概要

「イクメン学校」の主な授業内容

- 赤ちゃんのおむつ交換。沐浴体験。
- 妊婦体験（重さ7キロの妊婦ジャケット着用）
- 座学（夫婦間の大切なコミュニケーション）
- 赤ちゃん言葉の練習。ミルクの飲ませ方。
- イクメン士資格を婚活で活かす方法
- イクメン士資格証授与

費用：30000円

運営：株式会社ヴォルテッジ

晩婚化が進み世の中の結婚に対する考え方も変わりつつある中、まるで就活のように資格が結婚に対して有利になったりする時代が来たんだと感じた。この学校ではただの「育児」授業ではなく奥さんとの「コミュニケーション」まで教えてくれる点が結婚生活に対する授業のような気がして面白いなと思った。ただし実際に自分自身がその資格を持っている人を魅力的と感じるかどうかは微妙だ。